

倉吉で開催された日本女性会議に参加させていただきました。会場に足を踏み入れると「ようこそ！おかえりなさい！」というたくさんの声が聞こえてきて、温かく迎えてもらいました。

初日の 10/28、前半は分科会③IKIGAI わたしがたりのワークショップに参加しました。IKIGAI を見つけて、どんな未来に向かいたいか考えるというテーマでした。「IKIGAI」というのは、ダン・ベットナーさんという方が発信した言葉で、〈翌朝目覚めるための理由〉だということです。まず、自分が大切にしていることを三人一組になって話すのですが、それぞれ違うことが興味深かったです。私は自分のことばかり考えているなと思ったのですが、同じグループの 60 代男性は、家族や地元はどう恩返ししていくかということ大切にされていました。

分科会後半④は、女性が望む道を歩むためにはというプレゼンテーション。5 組のゲストがご自身の経験談から男女参画推進、ジェンダー平等についてお話ししてくださいました。皆様のお話を聞いていると、まずは〈自分がやってみる〉を実践されている方が多いんだなと思いました。やってみたいことに挑戦し、周りの理解を得ていく。そうやって、どんどん人を巻き込んでいくことが大事なのだと教えていただきました。最後のプレゼンでは、現役大学生の青木さんがジェンダー差別を感じた事例を発表していました。特に印象に残ったのは、青木さんが「ジェンダー平等」＝「男女平等に扱われること」では無く、「性別に囚われない選択の平等性」だと認識してほしいと訴えていたことです。これまで自分自身も、「女だから」と言われて引っかかっていた違和感を「ジェンダー平等」という言葉の再認識によって、解消してもらったような気がしました。

翌日 29 日は太鼓や UD ダンスというアトラクションを楽しみながら、秀ノ山親方と上地雄輔さんの特別講演を拝聴しました。お二人は友人だそうで、分野は違えど互いを尊重しながら認め合って交流されていることが伝わってきました。秀ノ山親方は、男女参画については、力士という仕事柄、家事においてはサポートしてもらえば良かったと話しており、それでも夢を叶えるためには一期一会を大切にすることだと仰っていました。上地雄輔さんは夢の叶え方について、野球の夢は叶えられなかったけど、別にそれで終わりじゃない、自分の人生をよく野球に例えていて、自分はまだ 4 回表。次のゲームをどうしようか考えながら生きているというお話が印象的でした。この二日間で、色々な人の考えを聞くことができ充実したものになりました。多くの人がジェンダー平等について考えていると実感したことで、私自身も言葉だけじゃなく、考え方も意識して日々を過ごしていこうと思いました。このような機会をいただけて大変嬉しく思います。本当にありがとうございました。